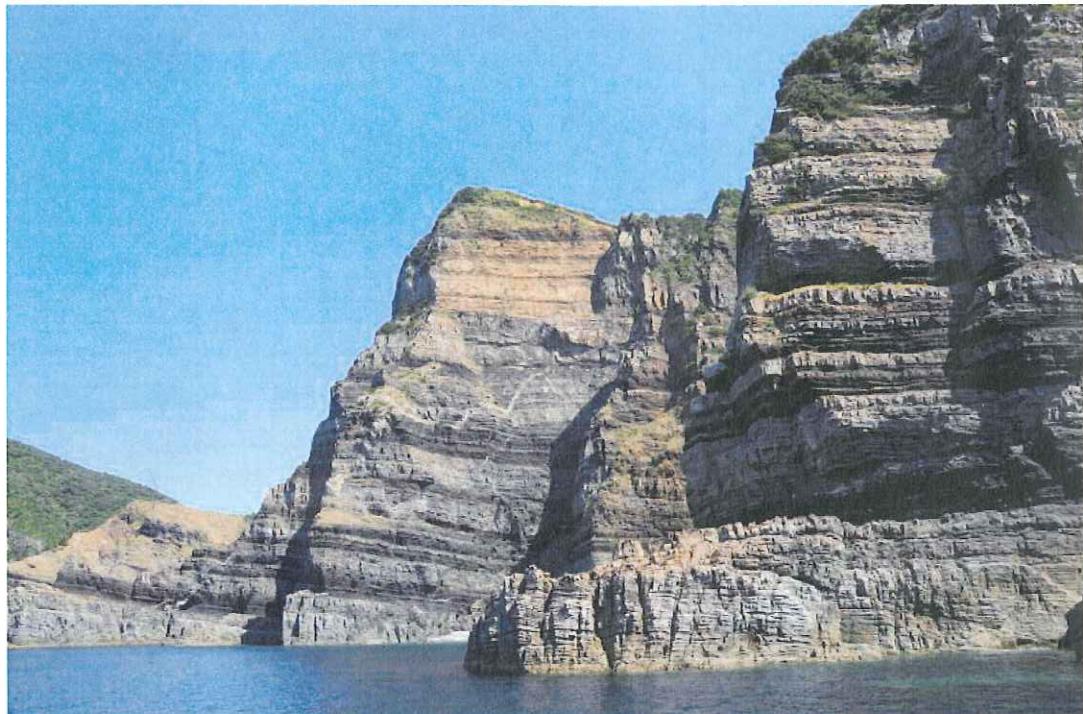


しもこしきじまよはぎまるやまだんがい はくあけいひめのうらそうぐん  
**下甑島夜萩円山断崖の白亜系姫浦層群**

【所 在 地】薩摩川内市鹿島町藺牟田夜萩1018-1の一部

【種 別】県指定天然記念物

【指定年月日】平成25年4月23日



海から撮影した夜萩円山断崖

夜萩円山展望台から全容を見る能够な夜萩円山断崖は、甑島の鹿島断崖の北端に位置する高さ約170メートルの断崖で、姫浦層群の連續した地層が観察できる露頭として貴重である。

この姫浦層群は長島、獅子島、熊本県の天草に分布しており、夜萩円山断崖から産出された貝化石から、断崖の地層は約8,000万年前のもので、大陸周辺の浅い海域に堆積したと考えられる。

このように、夜萩円山断崖の姫浦層群は大陸から切り離された日本列島の成り立ちを考える上で極めて重要である。

鹿島断崖は船から眺めなければその全容はわからないが、夜萩円山断崖は陸側の展望台から近い距離で観察する能够性があり、また、夜萩円山展望台周辺の道路では、夜萩円山断崖と同じ層準の地層に触れる能够な場所もある。